

岐阜県内を通っている中山道の様子を浮世絵で見てみよう

岐阜県内の通っている中山道は、私たちの住む稲羽西小学校区の北側を通っています。

では、この中山道というのは、いったいどんな道なのでしょうか。

江戸時代、江戸幕府は、江戸へ向かう5つの街道を整備しました。東海道・中山道・奥州街道・日光街道・甲州街道の5つです。そのうちの1つである中山道は、京都から江戸（今の東京）まで日本列島の内陸部を通っている道でした。（同じように京都から江戸まで太平洋側の海辺に近いところを通っていたのが東海道です。）

岐阜県内では、西から今須→関ヶ原→垂井→赤坂→美江寺→河渡→加納→（新加納）→鶉沼→太田→伏見→御嵩→細久手→大湫→大井→中津川→落合→馬籠のそれぞれの宿場町があり、長野県（信濃路）へ続いていました。

それぞれの宿場町の様子を浮世絵で見てみることにします。

今須宿（岐阜県垂井町：滋賀県境になります）



関ヶ原宿



垂井宿



赤坂宿



美江寺



河渡宿



加納宿



鵜沼宿



太田宿



